

京都市の新景観条例可決に対しての会頭コメント
(2007年3月13日)

戦後60年かけて乱れてきた京都の街並みを、50年後、100年後を見据えて、美しい景観を取り戻すことが我々の後世に引き継ぐべき使命だ。この条例が可決されたことは、その大きな一歩を踏み出したものとして歓迎したい。市民や業界の間では様々な意見が出ているので、京都市はしっかりと説明をしていただき、十分な理解を得られるように努力をお願いしたい。

京都商工会議所
会頭 村田純一